

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当 受領株主確定日	3月31日
中間配当 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL http://cleanup.jp/
単元株式数	100株

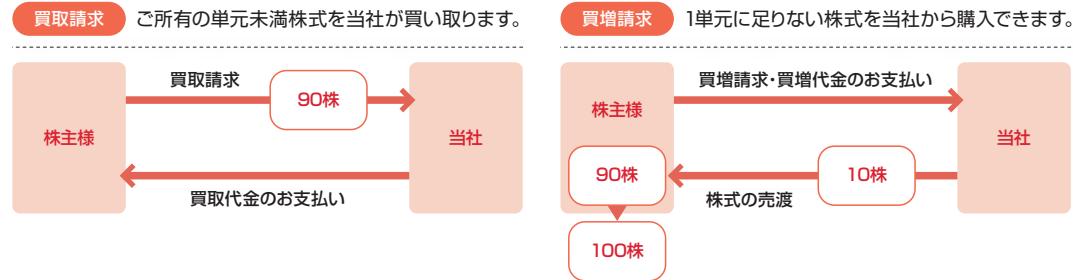
【株式に関するお手続きについて】

- 証券会社等の口座に記録された株式
株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せください。
 - 特別口座に記録された株式
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
 - 未受領の配当金
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
- 【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【同連絡先】
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せください。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せください。



キッチンから、笑顔をつくろう

株主の皆さまへ
第63期 第2四半期
報告書

2015年4月1日から 2015年9月30日まで



クリナップの 企業理念

創業者理念「五心」

- 一、創業の心
- 一、親愛の心
- 一、創意の心
- 一、技術の心
- 一、使命の心

創業者理念 「五心」

企業理念 「家族の笑顔を作ります」

行動理念

1. 私たちは、心豊かな食・住文化を創ります
2. 私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます
3. 私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

ブランドステートメント

キッチンから、笑顔をつくらう

事業としては「キッチンダントツNo.1」をめざす
お客様に対しては「キッチンの代名詞」としての評判をつくる

活動方針

上記三つの理念（創業者理念・企業理念・行動理念）に根ざした強い人材・組織・事業を育成することにより、経営を強化/高度化し、「The Kitchen Company」を確立します。

株主の皆さまへ

中期経営計画『15中計』のもと 次の成長に向けた基盤改革を推進



代表取締役社長

井上 強一

2016年3月期 第2四半期連結累計期間の 連結決算ハイライト

- 売上高は、消費税増税後の反動の長期化から、前年同期比6.6%減となりました。
- 利益面でも、営業利益が前年同期比84.2%減、経常利益が同88.1%減、親会社株主に帰属する四半期純利益が同88.5%減となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、 厳しい市場の中、減収減益となりました。

新設住宅着工戸数の動きを見ると、2014年3月から2015年2月までの12ヵ月間、前年同月を大幅に割り込む水準で推移しました。2015年3月以降、ようやく前年同期を上回る水準が続いてはおりますが、前年の1年間の落ち込みが大きかったことから、いまだ本格的な回復には至っていない状況です。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、こうした厳しい状況を織り込み、減収減益予想としておりました。結果は当初予想をさらに下回るものとなり、売上高が6.6%の減収、営業利益が84.2%の減益となりました。

当期より中期経営計画『15中計』をスタートし、 「ザ・キッチンカンパニー」をさらに極める取り組みに 注力しております。

前中期経営計画において当社は、「ザ・キッチンカンパニー」の確立に注力してまいりました。その結果、「ザ・キッチンカンパニー」としての明確な道筋と一定の成果を得ることができました。

少子高齢化のなか、日本の人口は、2010年代から減少トレンドが始まり、この影響から今後、新設住宅着工戸数の減少がより鮮明化してくるとともに、その一方

ではリフォーム市場の拡大が予想されています。

そうした環境変化を見据えてスタートした中期経営計画『15中計』では、「ザ・キッチンカンパニー」たることの重要性がますます高まっていくものと認識し、これをさらに極めていくための戦略・施策を展開してまいります。

「クリンレディ」のフルモデルチェンジ、 東日本の旗艦ショールーム開設など、 今後の成長のカギを握る大きな施策が 立ち上がりました。

「ザ・キッチンカンパニー」をさらに極めるための具体的な取り組みとして、まず、商品面では、当社の主力ブランドである「クリンレディ」についてフルモデルチェンジを行い、さらに大きな魅力を加えて2015年5月から発売を開始いたしました。厳しい事業環境が続いておりますが、新「クリンレディ」の魅力訴求に努め、業績への貢献を果たしてまいります。

また、顧客接点の要であるショールームについては、従来の新宿ショールームを増床および全面リニューアルし、「クリナップ・キッチンタウン・東京」として2015年10月に新たにオープンいたしました。3年前に大阪にオープンした「クリナップ・キッチンタウン・大阪」は、大都市中心部の高層ビル内に立ち上げた“天空のショールーム”として大きな評判を博し、今や西日本の

株主の皆さまへ

旗艦ショールームの機能を十分に果たしております。「クリナップ・キッチンタウン・東京」は、今後、東日本の旗艦ショールームと位置づけ、ブランド価値強化などを含めた幅広い役割を担ってまいります。

「食育」活動をはじめ、「クリナップ」ブランドの価値向上に向けた取り組みを、今後も積極的に展開してまいります。

今後の拡大が予想されるリフォーム需要の取り込みについては、各地の工務店やリフォームショップの加盟店組織「水まわり工房」4,259社との連携を、今後ますます強化していきたいと考えております。たとえば、全国各地のショールームを起点に、加盟店主催のリフォームフェアを実施しており、当期のフェア主催店舗

■ 中期経営計画の概要

「ザ・キッチンカンパニー」をさらに極めるために、「基盤改革」と「成長戦略」を推進

中期経営計画「15中計」(2015年度～2017年度)

基盤改革

収益構造改善

- 市場ニーズに即した商品のタイムリーな提供
- リフォーム市場で競争優位となる政策の実行
- 競争力のある収益・コスト構造の実現

経営基盤の進化

- 業務・仕組みの効率化による高い生産性の実現
- キッチン専門メーカーならではの人・ブランドづくり
- 社会的使命をもった事業活動の推進
- ガバナンス体制の強化と安定的な株主還元



成長戦略

- 海外事業の拡大
- 既存事業領域の拡大
- 新規事業への挑戦

数は2,705社にのぼります。

また、「クリナップ」ブランドの価値向上に向けて、「心豊かな食・住文化」をテーマに、これまで、さまざまなコミュニケーション活動を展開してまいりました。当期も、CSRにも立脚した「食育」活動をはじめ、全国各地でさまざまな地域密着型の活動を展開いたしました。

下期も、事業環境は先行き不透明な状況が続きますが、生産設備の増強、ショールームの改装、情報基盤の整備など、次の成長を見据えた基盤改革に取り組み、将来の売上拡大と利益成長をより確かなものとしてまいります。それと同時に、当期の通期業績についても、少しでも予想を上回ることができるよう、全社をあげて邁進してまいります。

株主の皆さまには、引き続きご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

トピックス



The Kitchen Company —— 食育活動への想い ——

ブランドステートメント「キッチンから、笑顔をつくろう」のもと、「食育」を重要な使命の一つと捉え、積極的な活動を続けております。その起点の一つとなっているのが、全国101カ所に展開されている当社のショールームです。地域の皆さまにご活用いただける体感型スペースを有した施設へとリニューアルが進み、当社の全国規模での食育活動はますます活発化しています。

食育活動 ①

キッチンから笑顔をつくる料理アカデミー

2009年～

食育活動 ②

“弁当の日” 応援プロジェクト

2012年～

食育活動 ③

高校生レストランが やってくる

2012年～

食育活動 ④

ムラのおばちゃん直伝 おふくろの味伝承塾

2014年～

直近の主な食育活動

2015
8.22

“わくわくキッチン! たべものへんしんきょうしつ”開催

子供達の料理に対する興味を引き出し、楽しさを体験することで、自分で調理して楽しく食べることの大切さに気づくきっかけになってほしいとの想いを込めた食育活動



2015
9.27

心温まる「お弁当コンテスト」

福島県いわき市内の小学生を対象に、スーパー(株)マルト様とともに、子供達の健全な育成と、震災以来の「食」の復興を「弁当の日」を通して支援していきたいとの想いを込めた食育活動



これまでの食育活動が評価されました!

第3回 食と農林漁業の食育優良活動表彰『消費・安全局長賞』を受賞

農林水産業への理解や食への感謝の念を醸成する食育活動を、持続的かつ効果的に実施した企業として、農林水産省主催「第3回 食と農林漁業の食育優良活動表彰」の企業部門にて、『消費・安全局長賞』を受賞しました。

表彰式にて表彰状と記念の楯が授与されました



特集：新クリンレディとショールームの展開

GOOD DESIGN AWARD 2015
BEST 100 受賞

「流レールシンク」が
2015年度グッドデザイン・
ベスト100に選ばれました



シンクは食品を扱うところだけに、清潔を保ちたい。汚れやゴミはそのままにせず、さっとシャワーで洗い流す。当たり前になった最後のひと手間。この手間を流レールシンクがお手伝いしてくれます。

地上波編 (15秒)

「ウルトラの母」がキッチンの前に立つと、胸のカラータイマーが鳴り始め、野菜くずで汚れたシンクを前に愕然。「ウルトラの母」がユーモラスにお伝えます。



地上派編オープニング

ウルトラの母を救う「流レールシンク」はわれらのシンクです!

TV-CM公開中!



©円谷プロ

衛星BS編 (5分)

「限られた時間の中で活躍する女性(母や主婦)」の代表として「ウルトラの母」が登場。実際の主婦お二人に寄り添い、最先端のキッチンを紹介しています。



BS編オープニング

詳しくはこちらの特設サイトへ
<http://cleanup.jp/sp-nagarai/cm/>



MEMO

1



クリナップ協賛映画
『はなちゃんのみそ汁』
近日公開!

公開を記念し、同封の「株主アンケート」にお答えいただいた株主の方に抽選で、50組100名の皆さまに、「はなちゃんのみそ汁」映画観賞券を進呈いたします。

2015/12/19 (土)
先行公開 (福岡&テアトル新宿)

2016/1/9 (土)
全国拡大公開

MEMO

2

2015.7.29 オープン
「南青山キッチンスタジオ -Supported by クリナップ-」
キッチン専用撮影スタジオにサポート協賛

南青山 Kitchen Studio www.minamiaoyama-kst.com



1階:スタジオA

木造3階建て (屋上テラス付)



KITCHEN TOWN
TOKYO
「クリナップ・キッチンタウン・東京」
グランドオープン 2015.10.3

10/11に行われた記者発表会 (ゲスト:服部幸應先生)

首都圏エリアの旗艦ショールームである新宿ショールームを8年ぶりに全面改装し、東日本を代表する「クリナップ・キッチンタウン・東京」が誕生しました。新ショールームはこれまでの1階スペースに加え、新たに同ビル6階に会議室や展示スペースを増床し、規模を拡大。ここから新しい価値が生まれます。

全国のショールーム数
101カ所

2012.7~
キッチンタウン
OSAKA

2015.10~
キッチンタウン
TOKYO

メインコンセプト

キッチンからはじまる、素敵な暮らし!
豊かなライフスタイルを体感できる共感型ショールーム



インフォメーション

キッチンタウン・東京の
新しい特長



ウェルカムキッチン&リビング

今回より導入する「キッチンビジョン・シート」を使い、最新のプロジェクションマッピングにて実寸でシミュレートしています。



リノベーションコーナー

首都圏の最新事例を画像で紹介。また空間展示にて、来場者のリノベーションへのイメージを膨らませます。



キッチン・スタジオ

料理実演ができるキッチンスタジオを1台から3台に増設。また、毎月「食と暮らしのイベント」を開催しています。



「クリナップ・キッチンタウン・東京」

住所 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館
電話番号 03-3342-7775
営業時間 AM10:00~PM5:00
定休日 毎週水曜日
(夏季、年末年始等休館日有り)
面積 1階 約660m²
6階 約190m² 合計約850m²
展示セット数 システムキッチン 22セット
システムバスルーム 5セット
洗面化粧台 9セット

連結ハイライト情報 / 連結部門別情報

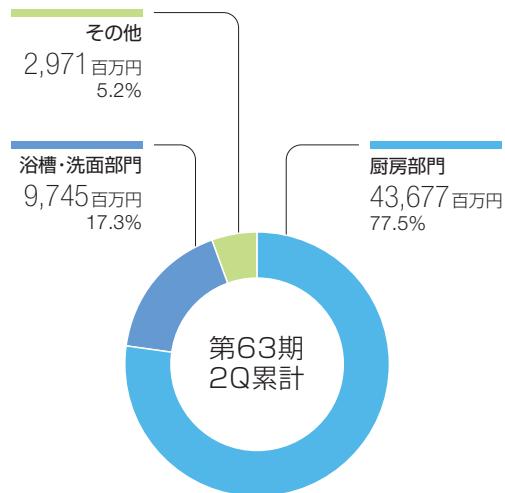
■ 連結財務ハイライト

(百万円)

	第61期2Q累計 2014年3月期2Q累計	第61期 2014年3月期	第62期2Q累計 2015年3月期2Q累計	第62期 2015年3月期	第63期2Q累計 2016年3月期2Q累計
売上高	59,876	128,785	60,377	116,239	56,393
営業利益	3,764	8,873	2,517	3,028	398
経常利益	3,563	8,470	2,316	2,703	276
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,119	4,970	725	883	83
総資産	89,204	95,932	87,107	86,063	86,371
純資産	57,800	60,626	56,026	56,509	56,051

■ 部門別売上高(連結)

(百万円)



	第62期2Q累計 2015年3月期2Q累計	第62期 2015年3月期	第63期2Q累計 2016年3月期2Q累計
厨房部門	47,151	91,195	43,677
浴槽・洗面部門	10,227	18,953	9,745
その他	2,998	6,091	2,971
合計	60,377	116,239	56,393

厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」、中・高級品クラスの「クリンレディ」、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「ユア시스」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。

第63期第2四半期連結累計期間の営業概況

市場環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続する円安及び株高を背景に緩やかな景気回復の兆しがみられたものの、消費税増税駆け込み需要の反動によって低迷を続ける個人消費の持ち直しには至らず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数が3月以降、前年同月を連続して上回り、回復の動きをみせましたが、リフォーム市場においては本格的な需要拡大には至らず、当社を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

業績・成果

このような中で当社グループは、2015年5月に『流レールシンク』を標準装備して新発売したシステムキッチン「クリンレディ」や、『美コートワークトップ』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、全国101カ所のショールームを活用したフェアを開催し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産バランス再編を踏まえながら、引き続きVE活動(*)を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.6%減の563億93百万円となりました。利益面では営業利益は同84.2%減の3億98百万円、経常利益は同88.1%減の2億76百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同88.5%減の83百万円となりました。

*VE活動: VE(Value Engineering)は、商品・サービスの期待される機能・価格を最低コストで確実に達成するための技術であり、VE活動は生産の現場におけるVE実現に向けた取り組み。

第63期第2四半期連結累計期間の部門別の状況

厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも減、「クリンレディ」は数量、金額とも減、「ラクエラ」も数量、金額とも減となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比7.4%減の436億77百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「ユア시스」は数量、金額とも減、洗面化粧台においても数量、金額とも減となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比4.7%減の97億45百万円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

流動資産 流動資産は前期末比1億35百万円減少し558億29百万円となりました。これは現金及び預金が7億91百万円、受取手形及び売掛金が1億30百万円増加した一方、有価証券が6億99百万円、電子記録債権が3億63百万円減少したこと等によります。

固定資産 固定資産は前期末比4億42百万円増加し305億42百万円となりました。これは有形固定資産が5億3百万円、無形固定資産が1億74百万円増加した一方、投資その他の資産が2億35百万円減少したことによります。

資産合計 総資産は前期末比3億7百万円増加し863億71百万円となりました。

	第62期2Q 2014年9月30日現在	第63期2Q 2015年9月30日現在	第62期 2015年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	58,474	55,829	55,964
現金及び預金	22,670	22,356	21,564
受取手形及び売掛金	19,769	18,800	18,670
その他	16,078	14,714	15,770
貸倒引当金	△ 44	△ 41	△ 41
固定資産	28,632	30,542	30,099
有形固定資産	20,868	21,930	21,427
建物及び構築物	9,494	9,138	9,346
その他	11,374	12,792	12,081
無形固定資産	2,115	2,743	2,568
投資その他の資産	5,648	5,867	6,103
投資有価証券	3,117	3,150	3,501
その他	2,586	2,788	2,673
貸倒引当金	△ 55	△ 71	△ 71
資産合計	87,107	86,371	86,063

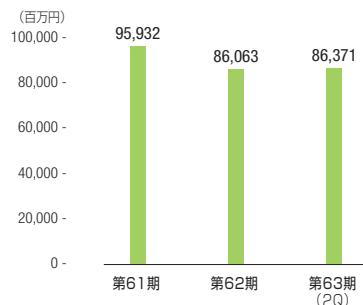
	第62期2Q 2014年9月30日現在	第63期2Q 2015年9月30日現在	第62期 2015年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	24,643	24,421	23,087
買掛金	7,075	6,886	7,036
その他	17,567	17,534	16,051
固定負債	6,437	5,898	6,467
長期借入金	769	772	1,273
退職給付に係る負債	1,927	1,190	1,284
役員退職慰労引当金	416	416	416
厚生年金基金解散損失引当金	893	915	915
その他	2,430	2,602	2,577
負債合計	31,080	30,319	29,554
(純資産の部)			
株主資本	54,955	54,359	54,695
資本金	13,267	13,267	13,267
資本剰余金	12,379	12,351	12,351
利益剰余金	33,646	29,051	29,387
自己株式	△ 4,337	△ 310	△ 310
その他の包括利益累計額	1,070	1,691	1,814
その他有価証券評価差額金	735	925	1,029
為替換算調整勘定	37	147	130
退職給付に係る調整累計額	298	617	653
純資産合計	56,026	56,051	56,509
負債純資産合計	87,107	86,371	86,063

流動負債 流動負債は前期末比13億34百万円増加し244億21百万円となりました。これは短期借入金が11億70百万円、未払金が6億11百万円増加した一方、買掛金が1億49百万円減少したこと等によります。

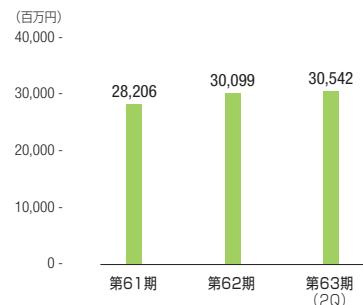
固定負債 固定負債は前期末比5億69百万円減少し58億98百万円となりました。これは主に長期借入金の減少5億円等によります。

純資産合計 純資産合計は前期末比4億57百万円減少し560億51百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益83百万円、配当金の支払い4億18百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億3百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末の65.7%から64.9%になりました。

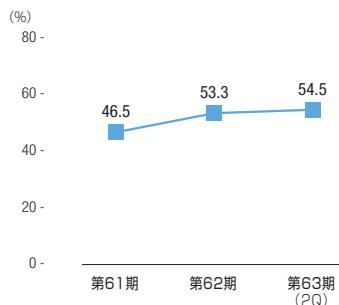
■ 資産合計



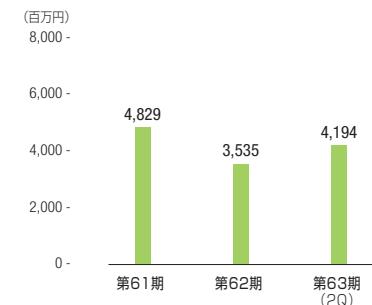
■ 固定資産



■ 固定比率

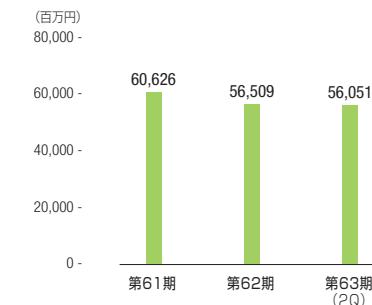


■ 有利子負債

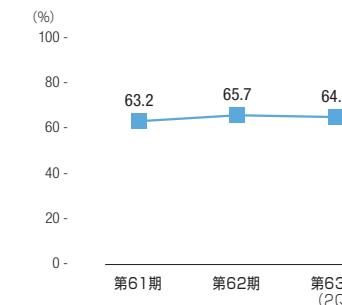


※有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、リース債務の合計。

■ 純資産合計



■ 自己資本比率



連結財務諸表

売上高 新設住宅着工戸数が3月以降、前年同月を連続して上回り、回復の動きをみせましたが、リフォーム市場においては本格的な需要拡大には至らず、当社を取り巻く環境は厳しいものとなり、売上高は前年同期比6.6%減の563億93百万円となりました。

売上原価 原価低減に努めたものの、原材料価格の高騰などもあり、売上原価率が前年同期比1.7ポイント上昇し67.4%となりました。

販管費 積極的な拡販活動を背景に、販売費・一般管理費などが増加しました。この結果、販管費は前年同期比2億8百万円減少しましたが、販管費率は同1.7ポイント上昇し31.9%となりました。

営業利益 減収のうえ、売上原価率・販管費率がともに上昇したことにより、営業利益は前年同期比84.2%減の3億98百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益 親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の大幅な減少を受けて、前年同期比88.5%減の83百万円となりました。

■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨 (百万円)

	第62期2Q累計	第63期2Q累計	第62期
	2014年4月1日～ 2014年9月30日	2015年4月1日～ 2015年9月30日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
(連結損益計算書)			
売上高	60,377	56,393	116,239
売上原価	39,640	37,983	77,531
売上総利益	20,737	18,410	38,708
販売費及び一般管理費	18,220	18,011	35,680
営業利益	2,517	398	3,028
営業外収益	278	278	584
営業外費用	480	400	909
経常利益	2,316	276	2,703
特別利益	9	45	11
特別損失	944	67	1,006
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,380	254	1,709
法人税等	655	171	825
四半期(当期)純利益	725	83	883
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	725	83	883
(連結包括利益計算書)			
四半期(当期)純利益	725	83	883
その他の包括利益	60	△ 122	803
四半期包括利益(包括利益)	785	△ 39	1,687

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (百万円)

	第62期2Q累計	第63期2Q累計	第62期
	2014年4月1日～ 2014年9月30日	2015年4月1日～ 2015年9月30日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	750	1,638	3,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,027	△ 1,059	△ 4,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,354	200	△ 6,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	12	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 6,637	791	△ 7,743
現金及び現金同等物の期首残高	31,321	23,578	31,321
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	24,684	24,370	23,578

営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果得られた資金は16億38百万円(前年同期比118.4%増)となりました。これは税金等調整前四半期純利益が2億54百万円、減価償却費が16億52百万円、未払金の増加8億2百万円があった一方、たな卸資産の増加4億79百万円、仕入債務の減少1億49百万円、法人税等の支払額1億71百万円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果使用した資金は10億59百万円(前年同期比47.7%減)となりました。これは生産設備の増設及び改修等により有形固定資産の取得による支出が14億58百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が5億60百万円あった一方、投資有価証券の償還による収入が2億円、有価証券の償還による収入が7億円あったこと等によるものです。

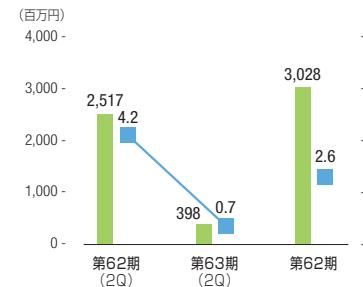
財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果得られた資金は2億円(前年同期は53億54百万円の使用)となりました。これは長期借入金の約定返済11億30百万円、配当金の支払いが4億18百万円あった一方、短期借入れによる収入が18億円あったこと等によるものです。

現金及び現金同等物の四半期末残高
現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末に比べ7億91百万円増加して243億70百万円となりました。

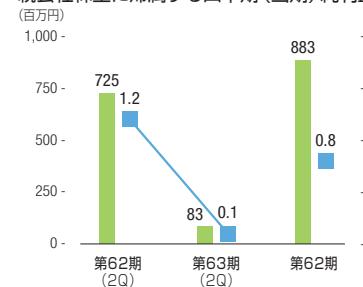
■ 売上高



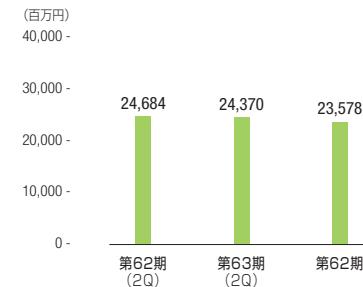
■ 営業利益・営業利益率



■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益率



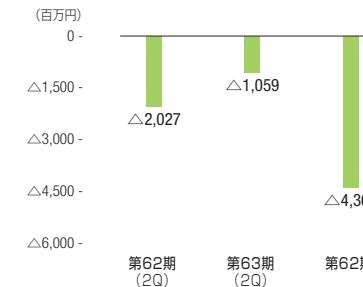
■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



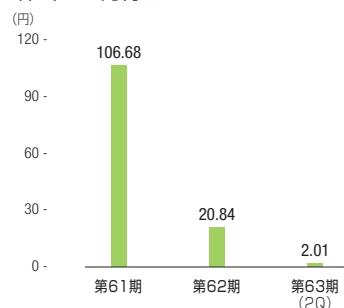
株主関連情報 (2015年9月30日現在)

■ 剰余金の配当について

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つとして考えており、配当につきましては、収益の状況及び将来の事業展開を勘案し安定的な配当の継続を基本として、決定しております。

以上の方針に基づき、中間配当金は、1株当たり10円とさせていただきます。また、当期の年間配当金は、中間配当を含め1株当たり20円を予定しております。

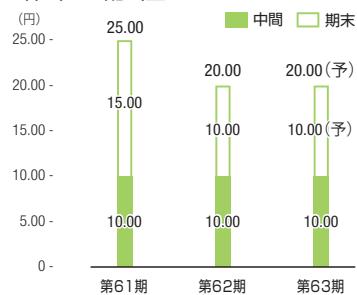
■ 1株当たり純利益



■ 1株当たり純資産

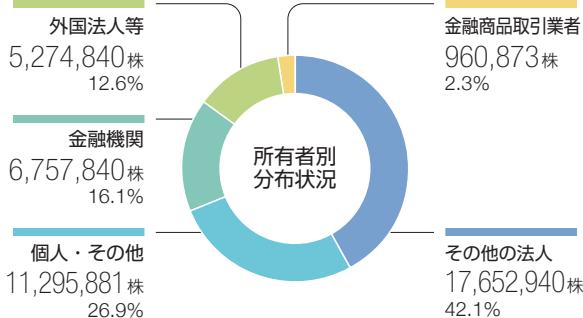


■ 1株当たり配当金



■ 株式の状況

発行可能株式総数	130,000,000株
発行済株式総数	41,942,374株
株主数	4,013名



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社井上	12,476	29.7
クリナップ社員持株会	1,850	4.4
株式会社タカヤス	1,829	4.3
クリナップ実業会	1,824	4.3
クリナップ共進会	1,581	3.7
井上 けよ	1,133	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,062	2.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCROO	1,034	2.4
みずほ証券株式会社	785	1.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	757	1.8

注) 持株比率は自己株式(50,267株)を控除して計算しております。

会社情報 (2015年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	クリナップ株式会社 Cleanup Corporation
本社所在地	〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
電話番号	03-3894-4771(大代表)
創業	1949年10月5日
会社設立	1954年10月5日
上場	1990年2月6日 東証2部上場 1991年9月2日 東証1部指定
資本金	132億6,734万円
主要営業品目	厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他
社員数	連結：3,531名 / 単体：2,762名
主な事業所	支社：国内3カ所 支店：国内4カ所 営業所：国内125カ所 海外：香港、北京、台湾、ハノイ 工場：四倉、鹿島システム、湯本、クレート、鹿島 (いずれも福島県いわき市)

■ 役員

代表取締役社長	井上 強 一	常勤監査役	山根 康 正
取締役	加藤 亨 一	常勤監査役	山本 幸 男
取締役	小島 輝 夫	監査役	新谷 謙 一
取締役	小松 裕 恒	監査役	有賀 文 宣
取締役	佐藤 茂		
取締役	藤本 眞 一		
取締役	島崎 憲 夫		

注) 監査役 新谷謙一および有賀文宣の両氏は、社外監査役であります。

■ ショールーム/全国101カ所

北海道支店ブロック	4カ所	中部支社ブロック	12カ所
東北支店ブロック	13カ所	関西支社ブロック	26カ所
東京支店ブロック	28カ所	九州支店ブロック	11カ所
上信越支店ブロック	7カ所		

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

*株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

